

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年10月28日

【四半期会計期間】 第15期第3四半期(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

【会社名】 GMOペパボ株式会社

【英訳名】 GMO Pepabo, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 佐藤 健太郎

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区桜丘町26番1号

【電話番号】 03-5456-2622 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役兼経営戦略部長 五十島 啓人

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区桜丘町26番1号

【電話番号】 03-5456-2622 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役兼経営戦略部長 五十島 啓人

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第14期 第3四半期 連結累計期間	第15期 第3四半期 連結累計期間	第14期
会計期間	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年 9月30日	自 平成28年 1月 1日 至 平成28年 9月30日	自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日
売上高 (千円)	4,125,081	5,140,943	5,697,805
経常利益又は経常損失 () (千円)	277,414	33,051	597,520
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純損失 () (千円)	275,134	54,322	797,754
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	279,323	35,060	798,729
純資産額 (千円)	1,522,306	1,073,678	1,012,350
総資産額 (千円)	4,389,548	4,396,510	4,062,550
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期 (当期) 純損失金額 () (円)	103.11	20.62	299.93
潜在株式調整後1株当たり 四半期 (当期) 純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	34.2	23.1	24.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	212,207	449,092	503,160
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	353,971	109,721	279,574
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	327,955	365	328,041
現金及び現金同等物の 四半期末 (期末) 残高 (千円)	1,922,213	1,895,782	1,556,777

回次	第14期 第3四半期 連結会計期間	第15期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年 7月 1日 至 平成27年 9月30日	自 平成28年 7月 1日 至 平成28年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額 () (円)	29.06	41.20

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期純利益又は四半期(当期)純損失()」を「親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失()」としております。
4. 平成27年5月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。第14期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額又は四半期(当期)純損失金額を算定しております。
5. 前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため記載しておりません。
6. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動は、以下のとおりであります。

当社は、平成27年12月21日開催の取締役会において、当社の特定子会社であった株式会社ブクログの保有株式をすべてブックオフコーポレーション株式会社に譲渡することを決議のうえ、同日付で株式譲渡契約を締結し、平成28年1月18日に譲渡しております。今回の株式譲渡により、株式会社ブクログは、当連結会計年度より当社の連結子会社から除外しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

本項に記載した将来事象に関する予測・見通し等は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであり、それらには不確実性が内在し将来の結果とは大きく異なる可能性があります。

(1) 経営成績の分析

当社グループは、「インターネットで可能性をつなげる、ひろげる」というミッションの下、レンタルサーバー、ショッピングカートASPサービス及びCtoCハンドメイドマーケットといった主に個人の表現活動を支援するサービスを幅広く展開しております。

そうした中、平成24年に提供を開始したCtoCハンドメイドマーケット「minne」が、わずか2年で作家数、作品数ともに国内No.1へと急成長したことから、「minne」をより強いサービスへと成長させるべく、平成27年12月期より継続して経営資源を集中し、プロモーション投資や組織の強化を行っております。

その結果、平成28年9月に「minne」のアプリダウンロード数は640万DLを突破し、流通金額は当第3四半期累計期間で6,080,208千円（前年同期比119.1%増）となりました。なお、同期間における「minne」への広告宣伝費は、883,753千円（前年同期比6.0%減）となりました。

また、ホスティング事業及びEC支援事業における主要なストック型サービスにつきましても、「有料契約件数増」と「顧客単価アップ」をテーマに掲げ、様々な施策に取り組んだ結果、堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高5,140,943千円（前年同期比24.6%増）、営業利益5,047千円（前年同期間は営業損失293,689千円）、経常利益33,051千円（前年同期間は経常損失277,414千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益54,322千円（前年同期間は親会社株主に帰属する四半期純損失275,134千円）となりました。

(セグメント別の状況)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

ホスティング事業

ホスティング事業では、個人からビジネスまで幅広い用途にご利用頂けるレンタルサーバー及びドメイン取得代行を中心としたサービス展開を行っております。

レンタルサーバーサービスにおける契約件数は各種キャンペーンを行うとともに、スペック及びサービスの利便性の向上に取り組んだことにより堅調に推移し、431,619件（前年同期比11,628件増）となりました。

また、ドメイン取得代行サービス「ムームードメイン」では、新規契約を対象とするキャンペーンの継続実施及び高水準での更新率の維持により、登録ドメイン数は順調に増加し、1,161,158件（前年同期比135,278件増）となりました。さらに、為替相場が円高基調であった影響を受けて仕入単価が減少し、利益率についても改善しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,861,320千円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は910,901千円（前年同期比17.6%増）となりました。

EC支援事業

EC支援事業では、ネットショップ運営者に向けたショッピングカートASPサービス「カラーミーショップ」の提供を中心に、サービスを展開しております。

「カラーミーショップ」では、継続的にアップセル及びクロスセルの推進に努めた結果、契約件数は堅調に推移し、44,775件（前年同期比1,172件増）となりました。また、オプション機能の利用促進を図ったことから、顧客単価も上昇いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,067,923千円（前年同期比17.8%増）、セグメント利益は471,932千円（前年同期比18.4%増）となりました。

ハンドメイド事業

ハンドメイド事業では、昨年より積極投資を行っている「minne」及びGMOペパボオーシー株式会社が運営する「tetote」を中心に、CtoCハンドメイドマーケットサービスを展開しております。

「minne」については、第4四半期の年末商戦に備えて内部施策に注力したことから、第2四半期に引き続き広告宣伝費を抑えて運用いたしました。流通金額は、夏季休暇の影響を受けて一時的に落ち込んだものの、決済手段の拡充及びWeb広告のチューニングなどを行った結果、9月は回復傾向となりました。なお、作家数、作品数及びアプリダウンロード数は、いずれも堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は865,522千円（前年同期比174.7%増）、セグメント損失は762,967千円（前年同期間はセグメント損失975,454千円）となりました。

コミュニティ事業

コミュニティ事業では、ブログサービス「JUGEM」においてPVが減少傾向にあることから広告収入が減少したものの、コストコントロールによる利益確保を図った結果、減益幅を抑えることができました。なお、平成28年1月18日の株式譲渡に伴い、株式会社ブクログは当連結会計年度より当社の連結子会社から除外しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は166,371千円（前年同期比20.8%減）、セグメント利益は68,793千円（前年同期比1.9%減）となりました。

その他

「PEPABO WiMAX」では、契約件数は増加したものの、運用コストが想定を上回ったため、増収減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は179,805千円（前年同期比93.3%増）となりました。セグメント損失は12,109千円（前年同期間はセグメント損失4,912千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,396,510千円（前連結会計年度末比333,960千円増）となりました。これは、主に関係会社預け金が300,000千円増加したことによるものであります。

負債は3,322,832千円（同272,632千円増）となりました。これは、主に未払金が55,219千円及び前受金が88,476千円増加したことによるものであります。

純資産は1,073,678千円（同61,327千円増）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が54,322千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ339,005千円増加し、1,895,782千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は449,092千円（前年同期間は212,207千円の支出）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益113,567千円、減価償却費150,191千円及び法人税等の還付額129,617千円による増加の結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は109,721千円（前年同期間は353,971千円の収入）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出115,535千円及び敷金及び保証金の差入による支出68,409千円による減少の一方で、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入90,068千円による増加の結果であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は365千円（前年同期比327,589千円の支出減）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,000,000
計	3,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年10月28日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,717,300	2,717,300	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	2,717,300	2,717,300		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日	-	2,717,300	-	159,677	-	149,677

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 83,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,633,000	26,330	
単元未満株式	普通株式 1,200		
発行済株式総数	2,717,300		
総株主の議決権		26,330	

【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) GMOペパボ株式会社	東京都渋谷区桜丘町26番1号	83,100		83,100	3.05
計		83,100		83,100	3.05

(注) 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成28年1月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,156,777	1,195,782
関係会社預け金	400,000	700,000
売掛金	1,139,777	1,293,268
その他	381,215	201,946
貸倒引当金	3,885	12,984
流動資産合計	3,073,885	3,378,012
固定資産		
有形固定資産	332,084	349,771
無形固定資産	200,286	192,479
投資その他の資産		
投資有価証券	399,431	373,194
その他	56,862	103,053
投資その他の資産合計	456,293	476,247
固定資産合計	988,664	1,018,497
資産合計	4,062,550	4,396,510
負債の部		
流動負債		
営業未払金	138,015	137,245
未払金	1,002,374	1,057,593
未払法人税等	4,251	34,935
前受金	1,478,691	1,567,168
その他	414,881	471,870
流動負債合計	3,038,213	3,268,812
固定負債		
資産除去債務	8,128	27,534
その他	3,857	26,485
固定負債合計	11,985	54,019
負債合計	3,050,199	3,322,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	159,677	159,677
資本剰余金	149,677	149,677
利益剰余金	863,243	917,566
自己株式	254,976	254,976
株主資本合計	917,622	971,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,882	44,620
その他の包括利益累計額合計	63,882	44,620
新株予約権	30,846	57,112
純資産合計	1,012,350	1,073,678
負債純資産合計	4,062,550	4,396,510

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,125,081	5,140,943
売上原価	1,928,295	2,244,055
売上総利益	2,196,785	2,896,887
販売費及び一般管理費	2,490,475	2,891,840
営業利益又は営業損失()	293,689	5,047
営業外収益		
受取利息	408	865
受取配当金	1,578	3,354
有価証券利息	9,499	-
匿名組合投資利益	3,557	-
開発支援金	-	5,000
投資有価証券評価益	5,785	15,618
その他	509	5,796
営業外収益合計	21,339	30,635
営業外費用		
支払利息	12	-
投資有価証券評価損	3,782	411
その他	1,270	2,219
営業外費用合計	5,065	2,631
経常利益又は経常損失()	277,414	33,051
特別利益		
関係会社株式売却益	-	88,633
特別利益合計	-	88,633
特別損失		
減損損失	29,425	6,909
投資有価証券評価損	18,934	1,207
特別損失合計	48,360	8,117
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	325,775	113,567
法人税、住民税及び事業税	639	26,787
法人税等調整額	51,280	32,457
法人税等合計	50,640	59,245
四半期純利益又は四半期純損失()	275,134	54,322
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失()	275,134	54,322

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	275,134	54,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,189	19,261
その他の包括利益合計	4,189	19,261
四半期包括利益	279,323	35,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	279,323	35,060
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	325,775	113,567
減価償却費	115,487	150,191
減損損失	29,425	6,909
貸倒引当金の増減額(は減少)	528	9,099
投資有価証券評価損益(は益)	16,931	13,999
関係会社株式売却損益(は益)	-	88,633
開発支援金	-	5,000
匿名組合投資損益(は益)	3,557	-
受取利息及び受取配当金	1,987	4,220
有価証券利息	9,499	-
売上債権の増減額(は増加)	367,856	158,410
前渡金の増減額(は増加)	20,817	3,472
その他の流動資産の増減額(は増加)	44,685	52,373
営業未払金の増減額(は減少)	26,222	8,520
未払金の増減額(は減少)	579,053	57,700
前受金の増減額(は減少)	118,821	88,496
預り金の増減額(は減少)	11,411	4,712
その他の流動負債の増減額(は減少)	57,602	73,177
その他	14,618	33,165
小計	56,838	321,697
利息及び配当金の受取額	11,486	4,220
利息の支払額	12	-
法人税等の支払額	280,521	6,442
法人税等の還付額	-	129,617
営業活動によるキャッシュ・フロー	212,207	449,092
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	197,860	115,535
有形固定資産の除却による支出	-	9,700
無形固定資産の取得による支出	59,136	39,184
投資有価証券の取得による支出	80,477	10,000
有価証券の償還による収入	700,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	101,727	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	90,068
投資事業組合からの分配による収入	18,808	21,144
匿名組合出資金の払戻による収入	74,687	-
敷金及び保証金の差入による支出	344	68,409
敷金及び保証金の回収による収入	-	37,654
貸付けによる支出	-	15,800
その他	23	41
投資活動によるキャッシュ・フロー	353,971	109,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	147,701	-
配当金の支払額	180,253	365
財務活動によるキャッシュ・フロー	327,955	365
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	186,191	339,005
現金及び現金同等物の期首残高	2,108,405	1,556,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,922,213	1,895,782

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において連結子会社でありました株式会社ブクログについては、平成28年1月18日付けで全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
現金及び預金	1,422,213千円	1,195,782千円
関係会社預け金	500,000千円	700,000千円
現金及び現金同等物	1,922,213千円	1,895,782千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月21日 定時株主総会	普通株式	180,269	135	平成26年12月31日	平成27年3月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	コミュニティ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,600,171	906,682	315,098	210,095	4,032,048	93,032	4,125,081	-	4,125,081
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,600,171	906,682	315,098	210,095	4,032,048	93,032	4,125,081	-	4,125,081
セグメント利益 又は損失()	774,678	398,451	975,454	70,101	267,777	4,912	262,864	556,553	293,689

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PEPABO WiMAXサービスを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 556,553千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	コミュニティ 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	9,979	18,154	1,291	-	-	-	29,425

(のれんの金額の重要な変動)

「ハンドメイド事業」セグメントにおいて、平成27年6月30日をみなし取得日として、OCアイランド株式会社が新たに連結子会社となっております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において104,012千円であります。

(注) OCアイランド株式会社は、平成28年1月1日付けで「GMOペパボオーシー株式会社」へと商号を変更いたしました。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	コミュニティ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,861,320	1,067,923	865,522	166,371	4,961,137	179,805	5,140,943	-	5,140,943
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,861,320	1,067,923	865,522	166,371	4,961,137	179,805	5,140,943	-	5,140,943
セグメント利益 又は損失()	910,901	471,932	762,967	68,793	688,660	12,109	676,550	671,503	5,047

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PEPABO WiMAXサービスを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 671,503千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	コミュニティ 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	-	-	6,909	-	-	-	6,909

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「EC支援事業」に含まれていた「ハンドメイド事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	103円11銭	20円62銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失金額()(千円)	275,134	54,322
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失金額()(千円)	275,134	54,322
普通株式の期中平均株式数(株)	2,668,483	2,634,154
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	(新株予約権) 平成27年3月3日付与 ストック・オプション 潜在株式の数78,000株	(新株予約権) 平成27年3月3日付与 ストック・オプション 潜在株式の数73,800株

- (注) 1. 当社は、平成27年5月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額を算定しております。
2. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。
3. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年10月28日

GMOペパボ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中塚 亨 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩村 篤 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているGMOペパボ株式会社の平成28年1月1日から平成28年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年1月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、GMOペパボ株式会社及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。